

株式会社街づくりまんぼう

- (1) 情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）
- (2) 情報公開シートⅡ（財務諸表等）
- (3) 情報公開シートⅡ補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見等

第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	令和 7 年 6 月 3 日	市所管部署	石巻市 産業部商工課
-------	----------------	-------	------------

2 法人名称等

法人名称	株式会社街づくりまんぼう	設立目的・経過 「人の光が街をかえる」を経営理念とし、宮城県石巻市の中心市街地52ヘクタールの商業活性化を中心とした街づくり活動にとどまらず、広く公益的な立場のもとに、「まちおこし」「産業振興」「人材育成」を果たし石巻市全体の活性化に貢献することを目的とする。
法人所在地	石巻市 中瀬2番7号	
設立年月日	平成 13 年 2 月 5 日	
代表者職・氏名	代表取締役社長 木村 仁	

3 定款上の事業内容

(1) まちづくりに関する企画立案、調査ならびにコンサルタント業務
(2) 商業振興を図るための企画、指導及び情報提供ならびにコンサルタント業務
(3) 観光、会議、集会等施設、駐車場、店舗その他施設の企画、建設及び運営業務
(4) マンガキャラクター商品、出版物の企画、制作及び販売
(5) 喫茶店、レストランの経営 ほか

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産 総額	石巻市 出資・出捐額	石巻市 出資・出捐割合	市以外の 出資・出捐者	市以外の者の 出資・出捐額	市以外の者の 出資・出捐割合
63,000 千円	30,000 千円	47.6 %	石巻商工会議所	1,000 千円	1.6 %
			石巻信用金庫	1,000 千円	1.6 %
			個人	900 千円	1.4 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員の状況

	R4期末	R5期末	R6期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	9	9	9
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	0	0	0
計	10	10	10
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	0	0	0

(2) 職員の状況

	R4期末	R5期末	R6期末
常勤	22	22	23
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	1
非常勤	0	0	0
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	22	22	23
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	1

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

企業理念「人の光が街をかえる」 一人ひとりの“光”は小さいけれど、多くの光が集まればやがて“灯り”となり、“炎”となって街を明るくすることができる。私たちは一人ひとりの力を高め、地域の皆様と共に成長し、情熱をもって活力ある石巻を創ることに全力で取り組みます。 経営ビジョン 1. 私たちは、常に探求心をもって新しいことにチャレンジしていきます。 2. 私たちは、尊敬と感謝の心をもって人と接し、“和”を広げていきます。 3. 私たちは、自らの経済活動によって収益性を高め、その収益を地域に還元します。 4. 私たちは、地元の皆様と共に成長し、石巻の経済・産業の発展に貢献します。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		令和5年度期	令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期	令和9年度期
石ノ森萬画館 有料観覧者数	人	目標 計画	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
		実績	87,871	90,525			
目標・指標の説明			石ノ森萬画館では石ノ森作品を中心としたマンガの魅力を発信すると同時に 動員力のある企画展やイベントを実施し来館者数の増加へつなげる。また市街 地の諸施設と連携した取り組みを行い来街者の増加に努める。				
目標未達の場合の要因分析							

目標項目・指標	単位		令和5年度期	令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期	令和9年度期
グッズ販売金額	千円	目標 計画	87, 000	88, 000	90, 000	92, 000	94, 000
		実績	137, 622	120, 898			
目標・指標の説明			石ノ森萬画館の店頭販売売上額の増加に加え、通信販売や外部での委託販売強化に努める。また、マーケティングをした上で石ノ森萬画館で開催する企画展にあわせた商品の開発や選定を行い、売上を増加させる。				
目標未達の場合の要因分析							

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
石ノ森萬画館 運営事業	マンガ・アニメ業界の市場動向や顧客ニーズのリサーチを積極的に行い事業に反映させた。また、企画展示に合わせて市街地の施設等と連動企画を行い、来街者の増加へとつなげた。	有料観覧者数は目標を上回ることができた。インバウンド旅行者は増加傾向だが、長期化する物価高の影響による国内旅行者の減少が懸念される。	駐車可能台数の少なさが課題としてあった。渋滞が予想される時期には、石巻観光協会等と連携して警備員を配置したり、南浜とかわまちエリアを結ぶシャトルバスを運行した。
事業の公共性、 公益性	石ノ森萬画館のみの企画やイベントではなく、市街地の店舗とも協力することで石ノ森萬画館をきっかけとした石巻市への来街者の増加を図っている。		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
街づくり事業	市街地のエリアビジョン策定から派生した「石巻まちなかエリアプラットフォーム」を立ち上げ、商店街やまちづくり関係団体と協力し、同じ目標のもと様々な事業を行っていく体制づくりを具現化した。また、商店街や市民と協働で新たなイベントも行った。	「石巻まちなかエリアプラットフォーム」を設立し、中活事業の推進に向けての形ができた。定期的に勉強会や会議を行うことで、まちづくりに関わる団体や個人の意識醸成を行った。また、商店街や市民主催のイベントをサポートすることにより、まちづくりに関わる人材の掘り起こしを行うことができた。	かわまちエリアから駅前・立町エリアへの人流を創出することが課題としてあった。萬画館企画展の連動企画として周遊スタンプラリー、市街地飲食店とのコラボメニュー等を実施した。また令和5年に開館した『ヒトコマ』も街中の「目的地」として定着してきている。
事業の公共性、 公益性	「石巻マンガタンミュージアム構想（街全体がミュージアム）」に基づき、中心市街地への来街者の増加や市民の関心向上に寄与するとともに、官民協働のもと課題解決に向けた取り組みを進めている。		

9 市が期待する役割、市意見等（担当部署記載）

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

団体名称	株式会社街づくりまんぼう
------	--------------

1 財務諸表（金額単位：円）

貸借対照表（B／S）	借方（科目）	令和4年度期	令和5年度期	前期増減	令和6年度期	前期増減
	流動資産	151,476,699	157,616,306	6,139,607	146,676,596	▲ 10,939,710
	うち 現金・預金	112,960,513	117,161,731	4,201,218	83,705,857	▲ 33,455,874
	固定資産	23,924,256	23,505,618	▲ 418,638	55,537,694	32,032,076
	有形固定資産	20,657,145	19,931,597	▲ 725,548	52,656,763	32,725,166
	無形固定資産	163,871	123,721	▲ 40,150	83,571	▲ 40,150
	投資その他の資産	3,103,240	3,450,300	347,060	2,797,360	▲ 652,940
	資産の合計	175,400,955	181,121,924	5,720,969	202,214,290	21,092,366
	貸方（科目）	令和4年度期	令和5年度期	前期増減	令和6年度期	前期増減
	流動負債	42,229,723	35,035,638	▲ 7,194,085	29,219,136	▲ 5,816,502
	うち 短期借入金	2,000,000	0	▲ 2,000,000	2,448,000	2,448,000
	固定負債	0	0	0	17,652,000	17,652,000
	うち 長期借入金	0	0	0	17,552,000	17,552,000
	負債合計	42,229,723	35,035,638	▲ 7,194,085	46,871,136	11,835,498
	純資産	133,171,232	146,086,286	12,915,054	155,343,154	9,256,868
	うち 資本金	63,000,000	63,000,000	0	63,000,000	0
	うち 資本剰余金	0	0	0	0	0
	うち 利益剰余金	88,521,232	101,436,286	12,915,054	110,693,154	9,256,868
	うち その他	▲ 18,350,000	▲ 18,350,000	0	▲ 18,350,000	0
	負債・純資産の部合計	175,400,955	181,121,924	5,720,969	202,214,290	21,092,366
損益計算書（P/L）	科目	令和4年度期	令和5年度期	前期増減	令和6年度期	前期増減
	売上高	282,039,485	349,734,559	67,695,074	344,248,616	▲ 5,485,943
	売上原価	202,717,505	252,635,574	49,918,069	235,837,650	▲ 16,797,924
	売上利益	79,321,980	97,098,985	17,777,005	108,410,966	11,311,981
	販売費・一般管理費	74,990,166	79,136,613	4,146,447	97,644,451	18,507,838
	営業利益	4,331,814	17,962,372	13,630,558	10,766,515	▲ 7,195,857
	営業外収益	1,079,553	274,891	▲ 804,662	2,046,959	1,772,068
	営業外費用	99,689	3,318	▲ 96,371	369,096	365,778
	経常利益	5,311,678	18,233,945	12,922,267	12,444,378	▲ 5,789,567
	特別利益	111,260	126,000	14,740	86,500	▲ 39,500
	特別損失	0	617,509	617,509	1,000,005	382,496
	税引前当期純利益	5,422,938	17,742,436	12,319,498	11,530,873	▲ 6,211,563
	法人税等	185,377	4,827,382	4,642,005	2,274,005	▲ 2,553,377
	当期純利益	5,237,561	12,915,054	7,677,493	9,256,868	▲ 3,658,186

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

区分	令和4年度期	令和5年度期	前期増減	令和6年度期	前期増減
営業活動によるキャッシュフロー	8,719,751	7,893,460	▲ 826,291	▲ 18,572,885	▲ 26,466,345
税引前当期純利益	5,422,938	17,742,436	12,319,498	11,530,873	▲ 6,211,563
減価償却費	1,366,984	1,493,371	126,387	1,950,908	457,537
有形固定資産売却益	0	0	0	0	0
有形固定資産除却損	0	617,509	617,509	5	▲ 617,504
保証金貸倒損失	0	0	0	1,000,000	1,000,000
受取利息及び受取配当金	▲ 2,393	▲ 1,773	620	▲ 11,092	▲ 9,319
雑収入・義援金及び助成金	▲ 1,188,420	▲ 399,118	789,302	▲ 2,122,367	▲ 1,723,249
その他資産の売却益	0	0	0	0	0
支払利息	97,689	1,068	▲ 96,621	28,026	26,958
雑損失	2,000	2,250	250	341,070	338,820
売上債権の増加額（減少額）	▲ 4,200,961	▲ 293,243	3,907,718	▲ 21,944,038	▲ 21,650,795
棚卸資産の増加額（減少額）	▲ 902,967	▲ 1,812,177	▲ 909,210	▲ 487,021	1,325,156
仕入債務の増加額（減少額）	11,746,202	▲ 9,510,725	▲ 21,256,927	3,681,597	13,192,322
その他流動資産の増加額（減少額）	3,655,203	167,031	▲ 3,488,172	▲ 85,105	▲ 252,136
その他流動負債の増加額（減少額）	▲ 8,182,271	4,316,640	12,498,911	▲ 11,946,099	▲ 16,262,739
利息及び配当金の受取額	2,393	1,773	▲ 620	11,092	9,319
雑収入・義援金及び助成金	1,188,420	399,118	▲ 789,302	2,122,367	1,723,249
利息の支払額	▲ 97,689	▲ 1,068	96,621	▲ 28,026	▲ 26,958
雑損失	▲ 2,000	▲ 2,250	▲ 250	▲ 341,070	▲ 338,820
法人税等の支払額	▲ 185,377	▲ 4,827,382	▲ 4,642,005	▲ 2,274,005	2,553,377
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 7,279,246	▲ 1,692,242	5,587,004	▲ 34,982,989	▲ 33,290,747
有形固定資産の取得による支出	▲ 6,932,186	▲ 1,345,182	5,587,004	▲ 34,635,929	▲ 33,290,747
無形固定資産の取得による支出	0	0	0	0	0
有形固定資産の減少額	0	0	0	5	5
有形固定資産の売却	0	0	0	0	0
有形固定資産の除却	0	0	0	▲ 5	▲ 5
保証金の貸倒	0	0	0	▲ 1,000,000	▲ 1,000,000
その他資産の売却益	0	0	0	0	0
その他の投資資産	▲ 347,060	▲ 347,060	0	652,940	1,000,000
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 12,000,000	▲ 2,000,000	10,000,000	20,100,000	22,100,000
株式の発行による収入	0	0	0	0	0
資金の借入による収入	0	0	0	20,000,000	20,000,000
借入金の返済による支出	▲ 12,000,000	▲ 2,000,000	10,000,000	0	2,000,000
その他の収入	0	0	0	100,000	100,000
			0		0
			0		0
			0		0
現金及び現金同等物に係る換算差額			0		0
現金及び現金同等物の増減額	▲ 10,559,495	4,201,218	14,760,713	▲ 33,455,874	▲ 37,657,092
現金及び現金同等物期首残高	123,520,008	112,960,513	▲ 10,559,495	117,161,731	4,201,218
現金及び現金同等物期末残高	112,960,513	117,161,731	4,201,218	83,705,857	▲ 33,455,874

（※1）負の数の場合は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

（※2）支出は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

2 市による財政・金融支援等（金額単位：円）

区分		令和4年度期	令和5年度期	前期増減	令和6年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）		2,343,403	1,562,000	▲ 781,403	1,097,000	▲ 465,000
	事業費補助金（交付金・助成金・負担金）	1,893,403	1,562,000	▲ 331,403	1,097,000	▲ 465,000
	管理費補助金（交付金・助成金・負担金）	450,000	0	▲ 450,000	0	0
委託料及び指定管理料		65,770,258	73,070,212	7,299,954	80,099,208	7,028,996
借入金（期末残高）		0	0	0	0	0
	短期借入金			0		0
	長期借入金			0		0
出資・出捐（期末時）		30,000,000	30,000,000	0	30,000,000	0
債務保証額（期末残高）				0		0
損失補償額（期末残高）				0		0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）	萬画館の一部	1,280,169	1,142,969	▲ 137,200	1,299,125	156,156
	市役所5階	6,220	6,240	20	6,248	8
				0		0

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：株式会社街づくりまんぼう

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

・未収入金が14,350千円の増加となった。 主な要因として、石巻市より運営委託料、補助金等が約28,013千円ほど未収入金に計上しているため前期に比べ増加となった。
・建物が6,345千円の増加となった。 旧橋通りCOMMONで使用していたコンテナを堤防に移設し、カフェに改築したことによるものである。
・土地が26,833千円の増加となった。 石巻市中央2丁目100番3、101番3の土地を取得したことによるものである。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項 目		変動内容	変動要因
流動資産	未収入金	14,350千円の増加	運営委託料・補助金などの増加
固定資産	建物	6,345千円の増加	堤防へコンテナを移設・改築による増加
固定資産	土地	26,833千円の増加	土地取得による増加

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

・中心街収入高が14,317千円増加となった。 主な要因としては、ベンチアート設置業務10,560千円、中活基本計画策定支援業務5,468千円の委託業務、堤防コンテナ設置の補助金3,000千円等によるものである。
・委託料が11,989千円増加となった。 主な要因としては、ベンチアート設置委託業務10,560千円によるものである。
・修繕費が5,345千円減少となった。 前期は、令和5年度に市に寄贈したマンガモニュメントの修繕980千円やシージェッター海斗の怪人衣装の修繕440千円、ヒトコマの外装修繕450千円等、積み重なり修繕費が増加となっていた。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項 目		変動内容	変動要因
売上高	中心街収入高	14,317千円の増加	委託業務・補助金による増加
販売費 ・一般 管理費	委託料	11,989千円の増加	モニュメント制作による増加
	修繕費	5,345千円の減少	前期は修繕が重なり金額が多かったため 例年通りの今期は減少となった

情報公開シートⅡ補足資料

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

・委託業務を複数受注していたため、売上債権が増加した。このことから、「売上債権の増加額」が前期比21,650千円の減少となったことを主な理由として「営業活動によるキャッシュフロー」が26,466千円減少した。

・「有形固定資産の取得による支出」について、旧橋通りCOMMONの土地の購入、堤防へコンテナを設置したことによる建物の取得等を理由として「投資活動によるキャッシュフロー」が33,290千円減少した。

・土地購入のため、20,000千円の資金の借入をしたことを主たる理由として、「財務活動によるキャッシュフロー」が22,100千円増加した。

以上により、令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）における現金及び現金同等物期末残高の減少額は33,455千円となった。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項 目	変動内容	変動要因
営業活動による キャッシュフロー	26,466千円減少	委託業務の増加により「売上債権の増加額」減少
投資活動による キャッシュフロー	33,290千円減少	建物・土地の取得による減少
財務活動による キャッシュフロー	22,100千円増加	資金借り入れによる増加

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途
イベント開催事業補助金	300,000	シージェッター海斗20周年イベント開催
マンガクリエイター支援事業	797,000	ヒトコマ運営補助金

情報公開シートⅡ補足資料

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容
マンガモニュメント修繕業務	627,000	キカイダーモニュメントの修繕
中央地区堤防一体空間 エリアマネジメント業務	1,078,000	堤防でのイベント・出店事業者の募集 イベントの企画運営・維持管理
マンガロード周遊webサイト 管理運営業務	1,782,000	H P の管理・情報発信
ベンチアート設置業務	10,560,000	ベンチ一体型モニュメント3体の設置
石巻市かわまちエリアプラッ トフォーム構築運営等業務	2,594,020	石巻市かわまちエリアプラットフォームの 設立・準備
マンガロード新名物創出 サポート業務	990,000	地元企業の新商品開発サポート
石巻市中心市街地活性化 基本計画策定業務	5,468,188	第4期石巻市中心市街地活性化基本計画の 策定に向けた調査等
石ノ森萬画館指定管理料	57,000,000	石ノ森萬画館令和6年度運営

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由
萬画館の一部使用	1,299,125	石巻市行政財産目的外使用許可処理基準に該当
市役所5階自動販売機地代	6,248	

市が期待する役割・市意見等（別紙）

法人名：株式会社街づくりまんぼう

担当部署名：産業部商工課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

石ノ森萬画館の有料観覧者数、グッズ販売金額ともに目標指標を大幅に上回った。今後も石ノ森作品を中心としたマンガの魅力を発信すると同時に、街なかの店舗等と連携した取組を行い賑わい創出につなげることを期待する。

グッズ販売については、通信販売や委託販売を強化してターゲット層を拡大し、さらに顧客ニーズに合わせた新商品の開発・販売を行うことで、引き続き売上げ増に努めていただきたい。

（2）主要事業の成果、課題

「クレヨンしんちゃん×仮面ライダー HERO'S展」や「おまえうまそうだな展」等のファミリー層をメインターゲットとした企画展が好調で、前年度以上の来場者数を記録した。

「石巻まちなかエリアプラットフォーム」を設立し、まちづくり関係団体や個人の意識醸成を行ったほか、周遊スタンプラリーや市街地飲食店とのコラボメニュー等のイベントの実施により中心市街地の賑わい創出を図った。

今後はかわまちエリアに限らず、広いエリアに効果もたらすことができるような取組を進めていく必要がある。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）に対する意見

（1）貸借対照表

会社の財務面の安全性を表す自己資本比率（自己資本/総資本×100）は約76.8%であり、かなり良好な状態である。

また、支払い能力の安全性を示す流動比率（流動資産/流動負債×100）は約501.9%、固定比率（固定資産/純資産合計×100）は約35.7%と安全性は高いことから、財務状況（安全性）に特段の問題はないといえる。

(2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

営業利益は10,766千円となり、前年度と比べ7,195千円の減少となった。営業利益率も約3.1%と、前年度に比べ2ポイント下がったが、要因としては販売費・一般管理費が大幅に増加したことが挙げられる。しかし、総資産経常利益率は6.1%、総資産回転率は1.7%と比較的高く、総合的に判断し、財務状況（収益性）に問題はないといえる。

(3) キャッシュフロー計算書

営業活動によるキャッシュフローは▲18,572千円であり、前年度と比較して26,466千円減少している。減少の主な要因としては、売上債権の増加が挙げられる。

投資活動によるキャッシュフローは▲34,982千円であり、前年度と比べて33,290千円減少している。主な要因としては、有形固定資産の取得による支出額が前年度に比べ高かったことが挙げられる。

営業活動によるキャッシュフローはマイナスだが、借入れによる収入があり、資金繰りはできていることから、問題はないといえる。

(4) 市による財政・金融支援等

なし

3 法人に対し市が期待する役割等(担当部署所感)

今後も魅力ある企画展や積極的な情報発信を通して来街者の増加に努め、賑わいの創出につなげていただきたい。また、街なかの施設・店舗と連携したイベントの開催やヒトコマの活用促進等を通じ、中心市街地全体のさらなる活性化に寄与することを期待する。